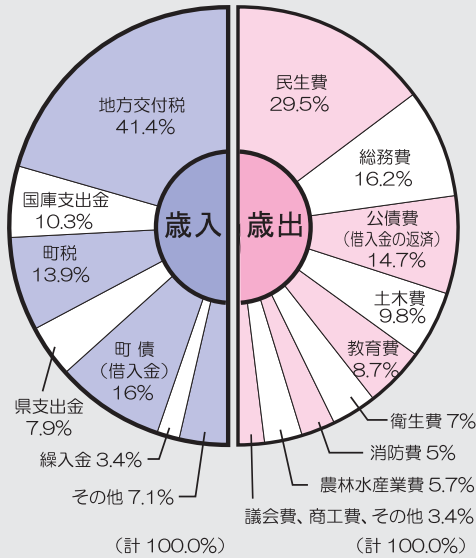


平成22年度決算額

◆一般会計 歳入 84億1,108万円
歳出 71億1,680万円



◆特別会計など (上段=歳入、下段=歳出)

国民健康保険	26億8,277万円	26億4,205万円
後期高齢者医療	1億4,444万円	1億4,363万円
介護保険	15億 967万円	14億6,919万円
介護保険(サービス事業勘定)	513万円	317万円
簡易水道事業	8,782万円	8,262万円
漁業集落排水処理事業	1億3,283万円	1億3,184万円
公共下水道事業	4億2,856万円	4億1,699万円
水道事業	収入 2億7,542万円	支出 3億7,123万円

と研修費用である。

消防団の活動費用弁償額は

問 震災後の消防団の活動に対する費用弁償額は、

消防防災課 消防団員は3月11日から5月15日まで延べ4973名が出動し、994万6000円の費用弁償を支出した。

専門技師増員 必要なのでは

問 今後のため建設課の技師の増員が必要では。

建設課 現在の技師は5名いて、他市町村から土木

技師2名、建築技師1名の応援を得ている。復興計画に備え増員が必要と考える。

副町長 平成24年度に採用する技師の募集をしたが、土木技師1名のみ応募があった。採用の前倒しも考えている。また、国に長期派遣職員の要求をしたい。

鯨と海の科学館 どう運営するか

問 鯨と海の科学館を観光協会に指定管理者制度で委託しているが内容は、

生涯学習課 本来は科学館の運営だが、平成23年度は鯨の骨の維持と災害復旧をしている。科学館の位置づ

けとして将来は津波を後世に伝える役割も持たせたい。

県柔道新人大会 補助金の内容は

問 県中学校新人大会柔道競技補助金の内容は、

学校教育課 県の新人大会が宮古地区で行われたことに対する運営負担金である。

観光施設用地の借り上げ状況は

問 観光施設用地の震災後の借り上げ状況は、

水産商工課 荒神園地、山田町歓迎塔はそのまま借地料を支払う。JR陸中山田

駅トイレは解約したい。船越家族旅行村はがれき置き場になっているので借地料を支払う。がれきの撤去状況をみながら復旧について県と協議する。

下水道の利用 受益者負担を

問 公平性を考えれば下水道の利用者から受益者負担金を取るべきでは。

上下水道課 大沢地区、船越地区では漁協から一般寄付金のかたちでいただいている。また、平成23年度から下水道の整備計画がない地区の合併浄化槽の補助を2分の1に引き上げている。

参考 平成22年度一般会計で使われた1世帯当たりの金額 (平成22年4月1日現在 7,210世帯)

民生費(福祉の向上のために使われる経費)	290,884円
総務費(一般事務費などに使われる経費)	159,499円
公債費(事業を行うため借りたお金の返済に充てる経費)	144,857円
土木費(道路の整備や区画整理事業に使われる経費)	96,860円
教育費(小中学校の管理や社会教育に使われる経費)	85,367円
衛生費(各種検診やごみ処理に使われる経費)	69,283円
農林水産業費(農林水産業の振興に使われる経費)	56,614円
その他(消防費、議会費、商工費など)	83,706円
合計(1世帯当たり)	987,070円